


本時案 11月25日6限

学年	1年	教科	家庭科	指導者	姫野 博子
单元名or 題材名	災害への備え(安全な住まいで安心な暮らし)			時数	1/2
本時のねらい	自分が住んでいる地域に起こるであろう様々な災害に備えて、報道記事などを知ることにより、屋内を安全に整備する必要と方法について理解する。				
学習指導要領における領域・内容	B(6)アイ				
本時の評価規準 (評価の観点) <評価方法>	近年の大型化する自然災害から、住まいの地震対策や安全確保の方法をあげることができ。また、自分の家でできる安全対策を考え、具体的に方法を表現している。 <評価の基準：知識・技能> <評価方法：観察・ワークシート>				
展開	学習活動	指導と手立て			
【めあて】 	導入	1. 現在の自然災害について考える 2. 本時のめあてを知る	○新聞やニュースで報道された災害について思い出させる。 東北大震災・身近では天瀬温泉の洪水など。  ○本時のめあてを知らせる。  【めあて】自然災害への備えについて考えよう		
	展開	3. 自分の住んでいる地域に起こりうる自然災害のようすを予想する。	○最近の自然災害について、自分の住んでいる地域でも起こりうる災害について、災害後のようすを予想し、事前に備えておくことを発表させる。 ○台風、大雨・洪水・地震の3点について考え、家庭科ノートの表を完成させる。  ○地震 ・倒れた家具や割れたガラスが飛び散る。 ・ライフラインがたたれる →家具の固定・ガラス飛散防止フィルムを貼る。 ○大雨・洪水 ・家の中まで水が入り、家具や家電がぬれる。 ・家に戻れない。 →1階のものを2階に移動しておく。 避難場所を確認 ○台風 ・停電になる。 ・強風で家のまわりの物が飛ぶ。		
	終末	4. 自然災害が起こったとき、非常時に持ち出す物をあげ、グループで交流する。 5. まとめをする	○自分の家での一時的に避難する場所にどのような物を持ち出すのかプリントに書かせる。 ・グループで他の生徒と自分の書いたことを出し合わせる。 ・全員で持ち出しに必要な物品を考えさせ、発表させる。  ○家庭科ノートのあなたの「非常持ち出し袋」に何を入れればよいかのリストを見て、チェックし確認させる。  【振り返り】ワークシートに記入することにより、自然災害における家庭での備えができていないか考えさせることができた。		